

# 岩木川ダム 統管だより

034号  
2020年  
2月28日

## 日本ダムアワード 2019



(写真提供: 日本ダムアワード選考委員会 様)

## 『津軽ダム』が低水管理賞を受賞!!!

令和元年12月28日(土)、東京カルチャーカルチャーで年末恒例の「日本ダムアワード2019」が開催され、津軽ダムが“低水管理賞”を受賞しました。日本ダムアワードは、一年間のダムの活躍を振り返り、各部門で当該年にもっとも印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讃えるというイベントです。

津軽ダムは令和元年5月から7月、近年稀にみる少雨に見舞われました。その中で、津軽地方におけるかんがい期間(5/1~9/5)に河川状況の監視や関係機関との連携を図りながらかんがい用水などの利水補給を行ったことなどが評価され、低水管理部門にノミネートされました。アワードでは、ダムライターでダム写真家の萩原雅紀氏がその利水補給達成までの道のりを『大きいことは、いいことだ』と題してプレゼンテーションを行いました。

同部門には津軽ダムを含む全国の4ダムがノミネートされ、投票の結果、最多得票を集めた津軽ダムが“低水管理賞”を受賞しました。この低水管理賞は、平成27年に“目屋ダム”が受賞しており、目屋ダムの再開発事業である津軽ダムが今回受賞したことで全国初の『親子受賞』となりました。

この受賞に際し、ダムアワード選考委員の萩原様と炭素様が津軽ダムを訪れ、令和2年2月25日(火)岩木川ダム統管理事務所会議室に於いて、授与式が執り行われました。当事務所を代表して長内事務所長が記念楯を受け取り、「これからもタイムリーな情報発信をして、地域振興に貢献していきたい」と抱負の言葉を述べました。



受賞記念楯の授与  
(左: 関西目屋村長、中: 長内事務所長、右: 萩原雅紀さん)



# 『津軽ダム 真冬の特別見学会』を実施

～ 令和2年の幕開け 運動不足を吹っ飛ばせ！ ～

令和2年1月8日(水)、当事務所“初”の試みである『津軽ダム 真冬の特別見学会』を実施しました。この見学会は、真冬の世界自然遺産を望む雪景色への招待と、津軽ダムの見学と堤体内部を踏破することで真冬の運動不足解消につながればという思いで開催したものです。

ダム内部の急こう配の階段もすべて歩いての見学となるため、募集は安全面も考慮し“目が行き届き、まとまりのある”少人数制に設定しました。年始早々の実施にも関わらず、ホームページでの募集開始からわずか2日で定員が埋まり、開催日が小中学校の冬休み期間でもあることから大人15名、小人3名の18名を受け付けました。この反応の速さには主催者側としても正直驚き、津軽ダムへの関心と健康増進への意識の高さをうかがい知ることができました。

当日の天候は真冬らしい雪模様でしたが、ダム堤体内部の気温は約15℃に保たれており外気温とは比べ物にならないくらい快適でした。参加者たちは、エレベーターも使うこと無く全て歩いて見学するうちに暑くなったご様子で、防寒着を脱いで汗を拭いながら階段を上っていました。

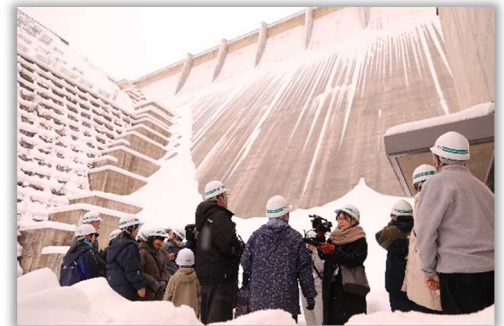
弘前市から親子で参加した関さんは「ダムの中が暖かくて、良い汗をかきました。夏に水陸両用バスのダムレイクツアースペシャルで見学して、その時は下りだけだったので今回は上りも体験出来てとても良い運動になりました。冬休みだったので子供にも見せたいと思って連れてきたんですけど、本当にいい経験をさせることができ良かったです。」と感想を話されました。



▲特別見学会に参加して下さった皆様。出発前に記念写真！



▲運動だけでなくダムの勉強もします



▲特別見学会限定！雪のダムを見上げました



▲参加記念カレンダーを作成しました



▲ダムの中ほぼ全てを歩きました







# 乳穂ヶ滝氷祭

令和2年2月16日(日)、西目屋村名坪平地区の県道岩崎西目屋弘前線沿いの乳穂ヶ滝において、滝の結氷により農作物の豊凶を占う『乳穂ヶ滝氷祭』が開催されました。今年は暖冬の影響で結氷には至りませんでした。祭りは豊凶占いのほか、護摩祈祷や火渡りなどが行われ、参加した人々は家内安全や無病息災を祈願していました。乳穂ヶ滝(高さ33m)は、白絹のような滝の奥に不動尊が祀られている青森県のパワースポットとしても知られています。また、毎年この時期は、滝のライトアップも実施しており、この幻想的且つ神秘的な光景を一目見ようとたくさんの観光客が県内外から訪れていました。

※「乳穂ヶ滝氷祭」は、毎年2月第3日曜日に開催されています。



乳穂ヶ滝 ～結氷には至らなかったがライトアップされ妖艶に浮かび上がる姿は圧巻～

## 黒石温泉郷 雪まつり “雪の降るさと 2020”

令和2年2月1日(土)～9日(日)、小嵐山黒石温泉郷雪まつり“雪の降るさと2020”が黒石市袋の津軽伝承工芸館を会場に開催されました。初日のオープニングナイトイベントでは、いかさまマジシャン森田むらおマジックショーや雪灯籠に灯された「ローソク」の幻想的なあかりが集まった観客たちを魅了していました。特設会場では、大小個性豊かな雪だるまが並ぶ「雪だるまワールド」や「雪のすべり台」などが設置された家族連れなどを楽しませていました。小雪の影響で規模縮小を余儀なくされた会場ではありましたが、開催者の気持ちが伝わる心温まるお祭りでした。



《 笑いに包まれるマジックショー 》



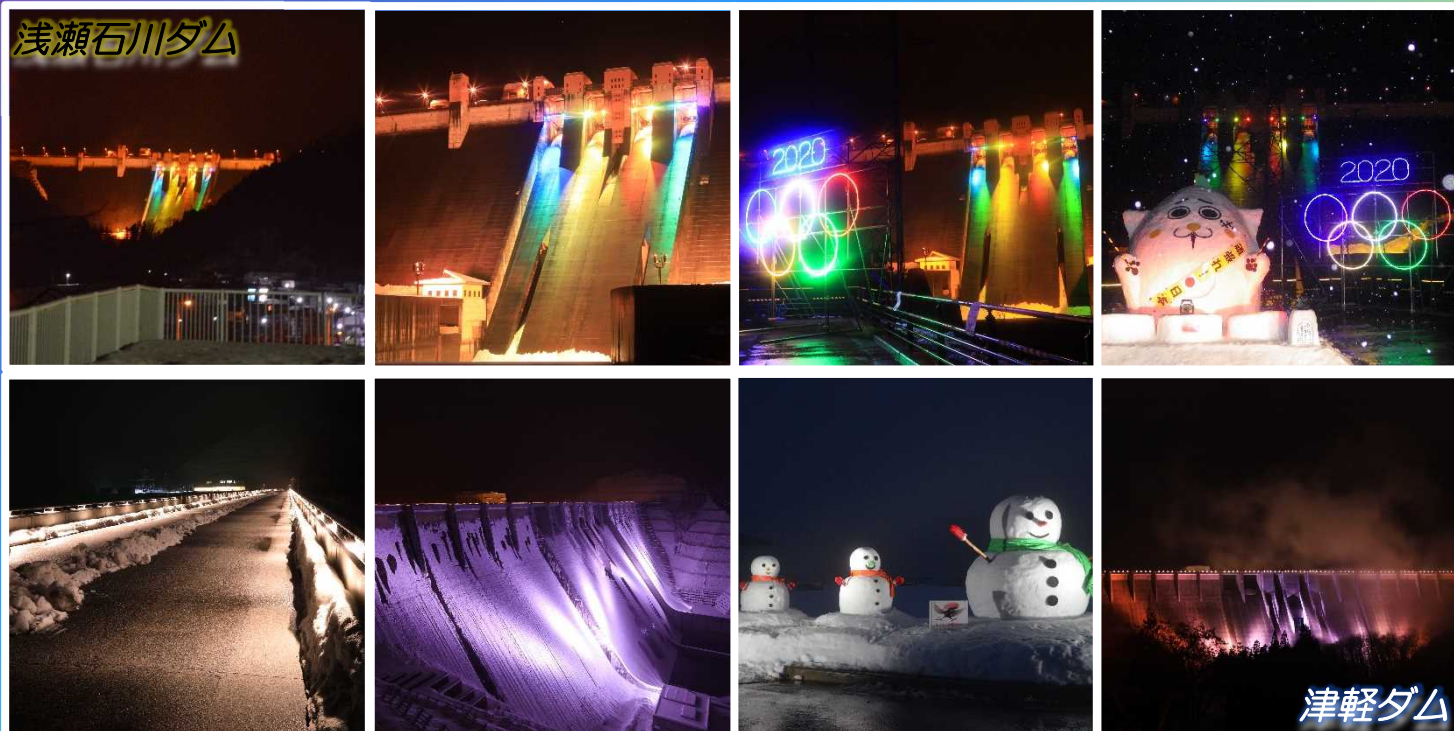
《 子供たちに大人気！雪のすべり台 》



《 湯けいいとろうそくの灯りが幻想的 》



# ～冬のライトアップ2020～AseishigawaDam・TsugaruDam～



浅瀬石川ダム・津軽ダムが統管理となり、3年目の「冬のライトアップ“2020”」を実施しました。

浅瀬石川ダムは、黒石市「雪の降るさと2020」の開催にあわせて令和2年1月31日(土)～2月9日(日)までの10日間レインボーカラーに。津軽ダムでは、西目屋村の「乳穂ヶ滝ライトアップ」とタイアップし令和2年1月31日(土)～2月16日(日)までの17日間を5分毎に7色のカラーチェンジで実施しました。ダム堤体に映し出される光のアートが地域イベントを盛り上げました。

ダム内部  
見学  
受付中!



## 浅瀬石川ダム・津軽ダムでは、 冬もダム内部見学受付中!

降雪により、夏場と一部違うルートで案内します。冬なのに“意外とあったかい”ダムの中を見学し、体感してみませんか？  
詳しくは、岩木川ダム統管理事務所HPをご確認ください。

●岩木川ダム統管理事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

### 編集後記

年末年始も慌ただしく過ぎ、気付けばもう2月末になってしまいました。感覚的に、冬は2日間くらいしかなかったような？暖かい冬はもう春になってしまったのでしょうか。

10月の編集後記に書いたカメムシ占いも当たらずの小雪。まさか大雪の年はもっとカメムシが多いのですか!?教えて偉い人～(怖)

そんな暖かい冬、私は初めて乳穂ヶ滝ライトアップを見物しました。「この滝が繋がるの？」と毎日気にしていましたが寒さは続かず氷柱は崩落してしまいました。寒さを心待ちにすることもあるんですね。来年は見事な氷柱を見てみたいなあと流れる滝を見ながら思いました◎ (対馬)

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統管理事務所

〒036-1422  
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平  
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035

FAX 0172-85-3061

岩木川ダム統管理事務所  
ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

